



みんなのできる 地球温暖化防止活動 — エコドライブのすすめ —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

■車

世界で初めてガソリン自動車が発明されたのは1886年です。内燃機関でガソリンを燃やし回転する力を作り、その力で車輪を動かして走りました。時速15kmで、「馬のない馬車」と呼ばれたそうです。

車は進化し、ガソリンの他にディーゼル、LPG、電気、水素などでも動きます。ハイブリット車は、ガソリンなどの内燃機関と電気モーターの2つのエネルギー源を備えています。

■ガソリン1ℓを燃やすと

車の運転で気になるのは、安全運転や快適さ、スピードや燃費(km/ℓ)です。ガソリンスタンドで給油するときは、やはり1ℓ何円なのかと、お財布と相談です。

地球温暖化防止の観点からは、ガソリン1ℓを消費すると、どのくらいの二酸化炭素(CO₂)を排出するかということです。なんと2・3kgも排出します。

■企業でも、家庭でも、CO₂排出源の一つが車なのです

自動車部品・用品販売の株式会社エスビー商会(郡山市)にお勤めの鈴木和己さん(相談役・つくしま地球温暖化防止推進員)は、「約60台ある営業用の車両全てにGPSを用いたシステムを取り付け、急発進、急減速、速度超過、アイドリング比率をリアルタイムで管理しています。」と車両運行管理の成果を説明してくれました。平均燃費が年々改善され、コスト削減になったばかりでなく、社員一人一人が安全運転を心掛けるようになったと言います。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

鈴木さんは続けます。「そのような自動車の運転方法をエコドライブと言います。社員は社有車ばかりでなく、私有車を運転する時にもエコドライブするようになり、お財布に優しくなったと感謝されています。」

ふんわりアクセル「eスタート」、車間距離にゆとりをもつて、加速・減速の少ない運転、減速時は早めにアクセルを離そうなど、「エコドライブ10のすすめ」(http://www.ecodrive.jp/eco_10.html)を紹介していただきました。

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>